

松山大学論集
第三十一卷第二号
令和元年六月発行

雑誌『国際知識』
総目次(二)

伊藤信哉

資料

雜誌『國際知識』總目次(三)

伊藤信哉

第七卷一号(一九二七年一月一日)

卷頭言

平和的戦争整備局……………二一三

昨年の世界概観

一九二六年世界総観……………エー・ビー・エー・エム 稲原勝治 四一〇

ドイツの聯盟加入／英帝国会議／支那関税會議／國際經濟準備會議／米国の総選挙／英国炭坑罷業／軍

縮予備會議／フランスの政変／ドイツとフランス／外人土地所有法

歐洲外交客年の決算……………法学博士 松原一雄 二二一

獨逸の聯盟加入問題／露獨中立條約／軍備縮小問題／歐洲の經濟的結合 二二八

一九二六年のロシヤを顧みて……………富士辰馬 二九一四六

外政の方面／内政の方面／節約の大運動

一九二六年の支那……………一宮房治郎 四七一六一

内政より観たる支那／国民軍と奉直聯合軍の衝突／北京のクーデター／広東北伐軍の長江経略／赤化問

題／外交問題概観／関税會議／治外法権會議／通商条約改訂問題／結論

昨年の英吉利を顧みて……………伊藤亀雄 六二一七二

昨年は英国の厄年／彼も失敗此も失敗／両雄併び立たず／婦人を貴族院に／自治領の國際的独立／英独

露の三角關係／変り行く対支政策／名を与へて実を取る／英伊協定とアビシニヤ

一九二六年の仏国政界……………町田梓楼 七三一七八

一九二六年の米国を顧みて……………高木信威 七九一八九

序言／軍備縮少制限に対する態度／常設國際司法裁判所加入問題／対支方針／其他の外政々策／対欧債

権問題／内政問題

自己満足のアメリカ一年……………木下乙市 九〇一九四

米国民の凡化時代／空軍の大拡張／世界法廷参加問題／曾未曾有の好景氣／禁酒問題

國際聯盟の一九二六年……………青木節一 九五一一〇六

はしがき／独逸聯盟に入る／聯盟理事会の改造／各種政治問題／軍備縮少其他の軍事問題／國際經濟会

議／其他の問題／結語

論 叢

大正十六年の年頭に立ちて太平洋の平和策を提唱す

——国策と軍縮の地方的協定……………洋々学人 一〇七―一二九

軍縮に対する国民の訓練／華府条約の欠点／国策と軍縮の協定に関する一般の方針／国策の協定／軍備制限の協定／結論

赤十字事業の新傾向——第二回東洋赤十字大会所感……………乾精末 一三〇―一三七

赤十字聯盟の起源／第二回東洋赤十字大会／大会の所感／新趨勢と其意義

書架

『英国はモスコの途を辿るべきか？』

——トロッキーに答ふるエンジエルの書を読む……………早坂二郎 一三八―一四五

雑纂

平和記念日に就て……………本協会々長 洪沢栄一 一四六―一四八

『平和の使者』十万——北米より遙々平和の使命を帯びて派遣さる

人形十萬個の計劃と運動……………ニユヨークにて 奥村竜三 一四八―一四九

教育による平和運動／『平和の使者』人形の派遣／日米の親善

聯盟の活動(5)……………国際聯盟情報部東京支局 一五〇―一五三

最近の聯盟主催会合／諸国政府情報局長会議——八月十九日より四日間／保健委員会／軍縮會議準備委

員会／共同委員会／事務局幹部の移動——独逸人の就任／第四十三回聯盟理事会／諸国際団体よりの書

翰／後記

本協会ニュース……………一五四―一六三

第六十五回理事会／高等師範支部／関東学生聯合会模擬聯盟総会／早稲田大学支部／帝大支部／慶大支

部／神戸高商支部（七月以後）／京大支部／国際聯盟模擬総会関西聯合会主催／鳥取高農支部／同文書院／長野支部／茨城西部教育会／神戸支部／倉吉部会／鳥取支部／山陰大会／外人部／学芸協力委員会／米国海上大学船／渋沢子邸園遊会／情報部支局主催歓迎会／杉村氏歓迎会／日本独学青年聯盟／国際聯盟デー平和記念大会／放送／出版／会員数／新入会員／会員の転居	一六四―一六四
編輯後記	一六四―一六四

第七卷二号（一九二七年二月一日）

謹んで大正天皇の御登遐を哀悼し奉る	卷頭
卷頭言 郵便標語に就て	二―三
哲学的及び科学的想定としての世界国家	四―一五
独逸の復興——欧洲に新形勢を生ぜしめん	一六―二二
石油と国策	二二―四一
石油を制するものは世界を制す／国防と石油／産業と石油／四大強国の石油政策	
国際宗教カトリックに就て	
——日本における今昔と国際的現状	四二―五二
ソヴェート・ロシアの経済状態	五三―六四
産業復興期終る／工業問題／農村問題／私有資本家問題／利権問題／外国貿易／結論	

対支外交の地方化より観たる広東地方政府承認論

——不平等条約撤廃と生存利益の確認……………間瀬悟郎

我国の移民問題と其考察……………土居万亀

日本移民の過去及現在／伯刺西爾行移民／将来採るべき方針

漢口事件と南方政府の将来

——英国対支外交の一蹉跌と日本の態度……………浜野末太郎

事件の直接原因／近因と遠因／列国の態度／南方政府の将来

英支葛藤事件——対岸の火災視は禁物……………小川節

英支関係の緊張化／英国の対支新提案と提出の動機／支那南北ともに英国案反対／漢口英租界事件勃発

／英国の対策／注目すべき国民政府の肚裏／日本の執るべき対策 附加税問題 租界回収問題／我国朝

野に深甚の注意を望む

長江にはためく青天白日旗——輕視されてゐた広東の勢力……………XY生 九二―九四

欧羅巴合衆国に対する一觀察（米誌アドボケート・オブ・ピース所載）

……………アドルフ・メイヤー 九五―一〇〇

波蘭の現勢とピルスズキー將軍……………ウイルブレー 一〇一―一〇九

雑纂

寄贈図書……………四一―四一

書架 国際聯盟年鑑……………六四―六四

書架 下村博士の『財政読本』……………大熊真 一一〇―一一〇

聯盟の活動(6).....国際聯盟情報部東京支局 一一一―一一四

最近の聯盟主催会合／第四十三回理事会／国際經濟會議／準備委員會第一回会合

十二月 中 本協会ニュース.....一一五―一一八

国際經濟會議対策相談会／地方的聯盟研究会／第六十六回理事会／帝大支部／東京外語支部／神戸高商

／長崎高商／同文書院／鳥取高農／外人部研究会／学芸協力委員會／杉村氏出発／古垣氏帰朝／出版／

會員数／新入會員／會員の転居

本協会学生支部関西聯合会主催 模擬国際聯盟総会の記

——大正十五年十一月二十三日、大阪外国語学校大講堂にて举行

.....大阪外語 野田慶一 一一九―一二一

世界各国児童の作品展覽会.....一二二―一二三

日本児童の世界児童に与ふる宣言.....一二二―一二三

第七卷三号（一九二七年三月一日）

懸賞論文募集.....社団法人 国際聯盟協會 一一一

時評 今日の世界.....編輯部 一二一

英国は譲る／出兵問題の結末／アグレン罷免／英支露の三角関係／上海中立の提議／幣原外相の演説／

第二軍縮會議提案／マルクスの返咲き／英国自由党分裂

ピントの合はぬ英の対支政策	エー・ビー・エー・エム	稲原勝治	一二―二〇
聯盟思想の先駆者サン・シモン	佐々木修一郎		二〇―二五
中米における米墨両国の争覇戦	清沢洌		二六―三六
プロレタリア国家の擡頭／米国メキシコ干渉の回顧／外人排斥の憲法制定さる／カイエス政府の宗教迫害／危機を生んだ外人土地法／米国の中米に対する帝国主義／ニカラガにおける米墨の衝突／この問題から得る教訓			
支那の時局と日英米	知識真治		三六―四三
列国の昂奮平静に復す／英国の第二次提案／拙劣に終つた英の対支策／米国の上海中立提議／米国の対支単独行動／租界問題			
労働代表選定方法の進化	浅利順四郎		四四―五四
露国共産党の起源及び豹変	ドクトル・オブ・シヴィル・ロー	桑原冊次郎	五五―六二
日清日露両役時代の共産党／労農政府は存続のため豹変			
米国憲法政治の本質	藤井新一		六二―六六
講演 欧米経済界をみて——国際協調の気運動く	森賢吾		九七―一〇〇
雑纂			
寄贈雑誌（二月号）			四三―四三
解説（一）支那に於ける租借地、租界（二）国際聯盟の軍縮諸機関			六七―七一
海外論調 英米間感情の齟齬——提携か乖離か？英米国民の将来			
（倫敦 ラウンド・テーブル誌所載）			七二―八一

趣味欄 アメリカでの記者生活の思出……………藤田進一郎 八二―八八

書架 浅野利三郎氏著『文化史観 国際思想発達史』……………八九―八九

聯盟の活動(7)……………国際聯盟情報部東京支局 九〇―九一

最近の聯盟主催会合／博物館事務局の設置／二重課税及脱税問題／委任統治／為替手形法の統一／流行

性感冒の撲滅策／雜録

一月中 本協会ニュース……………九二―九六

学生支部第十三回関東聯合委員会／東大支部／東京外語支部／慶大支部／横浜高商支部／正則中学／神

戸高商／京大支部／関西学院支部／山口高商／同文書院／放送／森、前田両氏歓迎会／児童部／經濟会

議調査会／分盟問題調査会／学芸協力委員会第六回会合／会員数／新入会員／会員の転居

第七卷四号（一九二七年四月一日）

時評 今日の歴史……………一一―一一

仏伊の拒絶／日英の賛成／三国会議提案／英国租界問題／国民党内の争ひ／日支通商条約／幣原外交を

支持／英露の通牒戦／ベツサラビア問題／米ニ保護条約／ハワイ邦語学校問題／英露独の三角關係

世界大勢小観……………田川大吉郎 一二―一九

フランス／イギリス／ドイツ／アメリカ／支那／日本

國際の中央集権と地方分権——軍縮會議とパン・ヨーロッパ運動に關連して

.....	松原一雄	二〇一二五
第二軍縮會議と列強——難関は依然比率問題か.....	坂本俊篤	二六―三七
軍備制限は実利問題——我国の参加は賢明な策.....	水野広徳	三八―四二
第二次軍縮會議.....	植原悦二郎	四四―四九
国民政府の諸政策とは何か.....	小川節	五〇―五六
政策の基調（孫文の三民主義）／対外政策（反帝国主義運動）／対内政策（反軍閥運動）／財政々策／民族主義と共産主義.....	長谷川文人	五七―六三
婦女売買条約と日本の留保撤廃.....	富士辰馬	六四―七一
ロシア共産党と支那国民党.....
レーニンの基礎策／その後の政策／政治部の活動／国民党内の離集.....
支那は何処へ行く——今次の変動と国際関係の将来.....	浜野末太郎	七二―七七
漢口協定以後／英国の次は日本／赤化か黄禍か.....	大井二郎	七八―八四
奉天軍閥と国民革命軍.....	大竹博吉	八六―九一
英露国交の悪化.....	堀敏一	九二―九九
ドイツの旧植民地恢復熱——注目すべき本問題の将来.....
平和条約改訂の序曲か／旧植民地に対する熱望／植民労働協会の努力／植民地要求の理由／英仏両国の態度／ドイツ政府の態度／反対論の一例／問題の将来.....	小汀利得	一〇〇―一一一
世界を席捲する「弗」の威力.....
ダラー・デプロマシイ／覇を唱へる金融と商工業／巨額の民間資本海外投下／各国に於ける市場の独占.....

／世界に張られた企業網／万能のモルガン投資会社／世界は聽て弗の勢力下に
日本との經濟關係を主とした南阿に於ける諸問題——ジヨハネスバーグにて

久川純

一一二—一一八

南阿の經濟的發展と現況／排亜細亜主義の真相／日本商品の市場としての南阿／原料品の供給地とし
ての南阿／南阿の政治過程

日本と各国との通商貿易の現勢

森田久

一一九—一二八

はしがき／昨年度の輸出額／昨年の輸入額／対亜細亜貿易／輸出先は支那が第一、輸入は印度からが第
一／南米との通商關係／将来の發展地アフリカ／濠洲／欧羅巴との貿易關係／北米との貿易はどうか／
処女地開拓の必要

モスール油田問題の経緯——石油を狙つた列強の角逐

松沢伝太郎

一二九—一三八

当代人物 国民政府を培ふ人々

高円寺生

一四一—一二八

蒋介石／汪精衛／陳友仁／登演達／孫科／宋子文／徐謙／譚平山／邵力子／甘乃光／吳鉄城／張静江／

宋慶齡／何香凝／ボロデン／何応欽／譚延闓／李福林／唐生智／程潜／戴天仇／陳公博／李大釗／李石

曾／陳独秀／胡漢民／伍朝樞

雜纂

懸賞論文募集——締切日は本年四月三十日

一一—一一

海外論調 日本とソヴェート・ロシア（露イズヴェスチャ紙一月二十八日号論説）

四三—四三

書架 浜野斗南著『支那人氣質』／浜野末太郎著『現代支那人物批判』

四九—四九

寄贈書籍

五六—五六

寄贈雑誌（三月号）……………五六一五六

海外論調 日本の平和政策（紐育タイムス一月十八日社説）……………八五一八五

海外論調 日本外交の新政策（仏ル・タン紙一月十九日号社説）……………一三九一四〇

一加奈陀人の観たる加奈陀——稲原勝治氏の加奈陀観を読んで）……………

………デー・ノルマン……………一四九一五〇

聯盟の活動(8)……………国際聯盟情報部東京支局……………一五一一五三

最近の聯盟主催会合／阿片売買の取締／ザール流域の施政／軍縮理事會委員會開かる／新聞記者の國際

協力／保健に対する財政援助／事務局幹部の移動——イタリー人事務次長の更迭／國際經濟會議の各國

代表顔触れ

本協會ニュース……………一五四一五五

國際兒童作品展覽會／經濟會議調查會／高師支部／東京外語支部／青山学院／外人部／鳥取支部／講演

／放送／學芸協力委員會／奉送／會員數

第七卷五号（一九二七年五月一日）

時評 今日の歴史……………一一一一

聯盟軍縮準備委員會／聯盟軍縮と三國軍縮／國民軍の分裂／露支の衝突／南京事件／列國の抗議／事件
の見方／通商條約改訂遲／アルバニア問題／問題の背景／國際經濟會議／ザールの協定

- 欧洲の大勢と聯盟の使命……………マタン紙外交主筆 ジュル・ソーエルワイン 一二一—一二二
 平和遠き欧羅巴の現状／仏国は何故に聯盟に信拠するか／独仏親善とブリアン氏の外交／人口問題と聯盟の責任／国際聯盟の為すべき事業……………二二—三二
 国際經濟會議の意義と日本——避け得ない矛盾の現れ……………清水武雄 二二—三二
 国際經濟會議議題……………三一—三一
 世界維新の發動力——国際聯盟をして力あらしめよ……………正富汪洋 三二—四〇
 世界改造の時来れり／東洋愈々多事なり／不安なる太平洋／赤露の勢力を如何に見る？／下り坂にある英帝国／日本の最大脅威は米国／世界国建設の急務／国際聯盟に力あらしめよ……………四一—四六
 不平等条約と支那——対等条約締結は時期尚早なり……………法学博士 高柳松一郎 四一—四六
 意想外なる二つの事件／支那が撤廃を望む不平等条約とは何か／関稅權の拘束や海關の外人管理は支那のため／治外法權撤廢は時期尚早だ／租界、租借地は支那自ら招いた罪／沿岸貿易の驅逐は支那の不利益／郵政塩政の外人参加は國權侵害とはならぬ／不平等条約は支那自身が作りしもの……………四八—五五
 南京事變の前後——南軍過信は禁物なり……………長永義正 四八—五五
 対支見解の分裂——不干渉論を徹底せよ……………梶山俊夫 五六—六八
 勞農ロシアの國際關係——ブハーリンの報告演説を紹介す……………深見尚行 六九—七九
 市場の獲得と所謂ロシア問題／ソヴェート・ロシアは世界革命の溶炉／ドイツの変化／英國の侵略政策／反露宣伝と白系露人の策動／平和政策と世界革命／資本主義諸國包圍の中に於ける社會主義建設……………八二—九〇
 露國の印度革命政策——色彩を濃くする英露の角逐……………閑畝山人 八二—九〇
 露國のほしがる不凍港／印度將校の英露開戰記／印度獨立と回教の赤化／赤化宣伝の根本方針／英出兵

の真目的は何か

孤城落日の感ある英国経済界——再び世界的覇権を其の手中に戻し得るか

喜多収一郎

九一—一〇〇

慢性病のストライキ／労働界の悪気流／財政上の難関／英露関係は不安／勁敵独逸甦る

日本から見たベツサラビヤ問題——英仏伊は批准し、残るは日本のみ

法学博士 泉哲

一〇一—一〇八

外交ゴシップ——軍縮をめぐる英米

在欧 XYZ

一〇九—一二四

はしがき／沈黙が金である場合／沈黙外交／喧騒外交／海の覇者／市の栄え／比率か？噸数か？／鴨河

の水／江戸の仇／三角関係

米国の人種問題

長谷部 静

一二八—一三九

はしがき／米国の奴隸／解放後の奴隸／人種的の別は一地方、一人種に限るに非ず／人種的反感の傾向

は減ぜず／米国の私刑

独逸工業界の「合理化」——トラスト組織の流行

倫敦タイムズ 在伯林通信員

一四〇—一四七

カルテルの発達／新鋼トラスト／石炭及び瓦斯／海運業／造船業／染料工業／ボターシユ業

雑纂

余滴 古今第一の偉人

二一—二二

国際 時局（米の軍縮提議）に対する各国新聞の論調(1)

四七—四七

フランス／イタリー／ドイツ〔※以下一四七頁〕／スペイン／ベルギー

余滴 大戦博物館の建設

六八—六八

解説 革命支那で活躍する問題の便衣隊とは?.....S・O生 八〇―八一

テロリストと便衣隊／国民党と便衣隊／共產党と便衣隊／糾察隊と便衣隊

余滴 映画の検閲.....一〇〇―一〇〇

新購入図書.....一〇八―一〇八

和書／洋書

書架 『学芸の国際協力』.....一二四―一二四

解説 日米条約の過去と現在.....B H 生 一二五―一二七

不对等より対等へ／現行条約と関税問題／協定税率と米国の反对理由／移民の入国権問題／条約の適用

範囲拡張

聯盟の活動(9).....国際聯盟情報部東京支局 一四八―一五一

最近の聯盟主催会合／英国政府の声明——支那問題に対して／第四十四回理事会／交通通過委員会／経

済会議の諮問委員／二重課税及脱税問題／聯盟会館設計図案審査／奴隷廃止条約の批准

本協会ニュース.....一五二―一五四

分盟問題調査会／経済会議調査委員会小会／第六十七回理事会／同文書院／長野支部／人形歡迎会／京

都に於ける国際児童作品展／外人部／青年団講演会／放送／学芸協力委員会／協会々旗寄贈／タブニー

及び本協会懸賞論文／出版／会員数

編輯後記.....K 一五四―一五四

第七卷六号（一九二七年六月一日）

時評 今日の歴史……………	二一四
新政府の対支政策／理由なき心配／日英同盟ありせば／経済の政治化／南京事件の停電／米国の豹変／	
南京政府成る／露支の水掛論／軍縮会議近づく／経済会議開く／経済会議の異彩	
軍縮問題と日米の将来に関する考察——総括的仲裁々判条約締結を提唱す	
………	
法学博士 信夫淳平	一五二〇
軍縮達成は戦因除去にある／今日のところ戦雲なし／支那問題で日米衝突の憂なし／物事は善意に解せ	
／現行仲裁条約改訂の要／総括的仲裁条約締結の急務／ルートの名言／要は誠意の問題／ブライアン平	
和条約／気運促進を望む	
国民結合の関係……………	二一二五
花園兼定	
委任統治制度の史的考察（上）——該制度の沿革、経緯を述べ其の本質を論ず	
………	
真鍋勝次	二六―三六
緒言／ボスニア、ヘルツェゴビナの委任統治／サイプラス島の委任統治／国際聯盟に於ける委任統治論	
／スマツツ案／ウイルソン案／委任統治制度成立の経緯	
………	
一記者	三七―四一
国際経済会議と労働露国参加の意義……………	四二―四七
茂森唯士	
国際経済会議とロシヤ……………	四八―五九
外交ゴシップ（承前）——支那問題を中心として……………	
在欧 XYZ	

何処へ行く／嵐／思想の模擬／本来の面目

深刻味を加へる英露の闘争——国際関係を支配する二大勢力の角逐

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 中平亮

伊太利の外交進出——時代に逆行するファシズム・・・・・・・・・・ 保田十一

はしがき／強力外交の一表現／得意の出し抜き／イタリーと地中海／イタリーと軍縮／英国とイタリー

／ファシスト外交の将来

映画と国際関係——世界を席捲するアメリカ映画・・・・・・・・・・ 人見直善

映画時代（序言）／新ロシアの映画「ポテムキン」のこと／星条旗がないから……／映画上の汎アメリカ

カ主義／米国に征服された英国映画界／独仏その他の諸国も米国に屈服／結論

欧洲戦後の世界海運——英米独三大国の将来・・・・・・・・・・ 伊藤重治郎 八八―九九

戦後の概観／英国の地位／米国の海運／独逸の海運復興

武漢政府南京政府の分裂・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 沢村幸夫 一〇〇―一〇四

支那に於ける阿片の現状（上）・・・・・・・・・・・・・・・・ 在上海 宮崎和生 一〇六―一一五

阿片癮者／密輸入／阿片の沿革／阿片の近状

南洋委任統治地の民——その民族誌的考察に就て・・・・・・・・ 松岡静雄 一一八―一二三

輸出入禁止及制限制度の撤廃に関する国際会議——来る十一月十四日ジュネーヴ開催・・・・・・・・ 一二四―一二八

国際経済会議と輸出入禁止及制限の撤廃に関する国際会議／輸出入禁止及制限撤廃問題と国際聯盟／第

五回聯盟総会の決議／経済委員会作成の条約原案／条約原案に対する各方面よりの批評

雑纂

ダブニー懸賞論文予選発表表……………

社団法人 国際聯盟協会

一〇一

余滴 西班牙執政官倒る……………

二〇一二〇

寄贈雑誌 四月号……………

二五一二五

余滴 幼時の志望と後年の大業……………

四一四一

世界人口の密度……………

六九一六九

会館設計の当選図案発表——最後の決定は聯盟総会にて……………

七九一七九

余滴 犯罪流行の原因……………

一〇四一一〇四

国際 時局に対する各国新聞の論調(2)——聯盟への批評……………

一〇五一一〇五

イギリス／カナダ／スエーデン／オーストリア／スペイン……………

余滴 本年の日月蝕……………

一一五一一一五

国際 時局に対する各国新聞の論調——米国の軍縮提案への批評……………

一一六一一七

イギリス／フランス／イタリア／カナダ／オーストラリア／アルゼンチン……………

余滴 キヤプテン・クツクの布哇記念祭……………

一二八一二八

書架 愉快に読める外交の読本〔※稲原勝治『外交読本』外交時報社の書評〕……………

…………… 永井万助……………

一二九一二九

聯盟の活動(10)……………

…………… 国際聯盟情報部東京支局……………

一三〇一一三一

最近の聯盟主催会合／国際法典の編纂／武器私造問題／保健衛生の問題／学生の国際協力……………

本協会ニュース……………

一三二一一三四

ダブニー賞予選／第六十八回理事会／春季大講演会／東京外語／東大支部／軍縮問題懇談会／経済会議……………

調査会／経済会議代表出発／歓迎会／学芸協力委員会／児童部／外人部／放送／出版／会員数

第七卷七号（一九二七年七月一日）

時評 今日歴史……………一―一二

尚早なる出兵／算盤の取れぬ出兵／米国の脱退／二つの妥協劇／経済会議の意義／軍縮会議の基調／日

本の立場／英露の断交／その意義／困る日本

三国軍縮会議に直面して——軍縮の根本方針を論ずる公開状……石丸藤太 一三―二四

日本に国論ありや／今度の軍縮会議はどこ迄行くか／公平合理的な軍縮案／姑息なる外交を排せよ

海軍々備縮小と我が海運貿易——我が特殊の国情に鑑み五、五、四が妥当

……………経済学博士 寺島成信 二五―三三

軍縮は可能か……………伊藤正徳 三四―四〇

英露断交は露国に不利……………島谷亮輔 四一―四八

英露国交断絶の一觀察……………佐々木修一郎 四九―五五

偶然のことではない／反射的行動／計劃から行動へ／保守党の断交は当然

支那の経済的特殊性とロシアの観点……………富士辰馬 五六―六八

対支策の方法論／ロシアの支那政局観／封建制度の有無／農業関係の分析／軍閥の封建主義／革命のパ

ースペクチュヴ／諸勢力の面接

日英同盟復活論と張作霖援助論……………	山森利一	六九一七四
対支出兵是非——日本を環視する英米露支……………	エー・ビー・エー・エム 稲原勝治	七五一九〇
独乙の産業回復……………	宮川貞一郎	九一一九六
国際経済会議を顧みて……………	小汀利得	九八一〇四
会議は近来稀れに見る壯觀／チエニス氏の大演説と会議の特異性／時日を要する関税障壁撤廃／工業の 合理化とカルテル承認／初めから期待の少かつた日本／資本主義と共產主義併立承認／会議の世界経済 界に与ふる効果……………	楠山義太郎	一〇五一一二
英国労働法案について——保守党政府反動政策の一表現……………	在上海 宮崎和生	一一三一二二
支那に於ける阿片の現状（下）……………		
国際関係／已往の禁煙法／中華民國拒毒会／阿片と民謡／結論……………		
委任統治制度の史的考察（下）——制度の沿革、経緯を述べ其の本質を論ず……………	真鍋藤治	一二二一三四
委任統治制度成立の経緯（続き）／委任統治制度の実施／委任統治細則の決定／委任統治細則の内容／ 委任統治に対する国際聯盟の監視／委任統治委員会七ヶ年の業績……………	青木節一	一三五一一三七
ジュネーヴに新設の国際問題研究大学院……………		
国際問題研究の中心としてのジュネーヴ／国際問題研究大学院の設立／研究方法及課程／入学資格及び 卒業証書……………		
雑 纂……………		
電話番号変更通知……………	社団法人 国際聯盟協会	一二一一二

余滴 世界戦争の暗黒面／ニューヨーク市の摩天楼	二四―二四
余滴 老人の世の中	三三―三三
余滴 一時間二百哩を駆る	四〇―四〇
小話数則	四八―四八
余滴 男よりも女の多い国	五五―五五
余滴 世界の富は米国に集る	一一―一一
余滴 海上大学船来らん	一一―一一
余滴 世界は化粧に浮身をやつす／ラヂオの発達	一三四―一三四
六月号寄贈雑誌	一三七―一三七
聯盟の活動(11)	一三八―一四一
最近の聯盟主催会合／第八回総会の議題／軍縮準備委員会——第三回会議／失業緩和策の研究／児童福祉増進／婦女売買の問題／狂犬病国際会議／新聞の国際協力——国際会議の開催／設計図案入選の発表	
本協会ニュース 五月中	一四二―一四七
本協会第七回総会／国際聯盟地方的分権化問題に関する決議案／軍備縮小に関する決議案／国際経済会議に対する決議案／青少年に対する国際聯盟教育に関する決議案／第三回全国支部長会議／支部職員会議／学生支部関西聯合会委員会／学生支部関東聯合会第十四回常務委員会／女大学生支部発会式／早大支部／明治学院／京都帝大／大阪外語／神戸高商／同志社／関西学院／関西大学／横浜高商／東亜同文／動物愛護週間／学芸協力委員会／児童部／外人部／出版／会員数	

第七卷八号（一九二七年八月一日）

時評 今日の歴史……………	時評子	一—一二
英米の争覇戦／軍拡会議か／日本の態度／現代の合縦連衡／大元帥張作霖／南方の結束／第二次出兵／ 経済的断交／東方会議		
委任統治制に関する紛争——受任国と統治委員会との権限論争の紹介	栗屋関一	一四—二四
再び日米の紛争平和的处理条約案に就て——両国識者の研究考慮を促す	法学博士 信夫淳平	二六—三二
日米間の戦因の存否／仲裁裁判の結果は概して我国に不利とならうとの懸念／総括的仲裁条約とブライ アン平和条約との異同／両種条約の得失		
山東出兵と排日ボイコット——外交的出兵の趣旨を徹底せよ…小川節		三三—四一
保健衛生の国際協力——聯盟保健部東洋支局に就て	在シンガポール聯盟保健部東洋支局次長 佐藤正	四二—四七
国際聯盟と東洋の衛生／聯盟保健部東洋支局の創設／東洋支局の機能／支局と學術研究問題／支局の経 費と各国の援助		
世界経済の現勢をロシアはどう観るか（国際經濟會議ロシア首席代表の演說抄訳）	深見生	四八—五四

経済的不均衡／労働階級と資本家／工業と農業／資本主義諸国間の利害背馳／資本主義諸国とロシア／
本国と植民地／資本主義制度の発達／ルシユール案とジュオー案／ロシアの提議

歐洲外交の新局面——再び英仏の接近……………中平亮

外交ゴシップ(3)……………在欧 XYZ

支那の外国中毒／同盟か孤立か／ソビエツトの功罪／露国は何処へ／外交当局攻撃の時期／自称帝国主

義／支那問題と英米関係

軍縮乎軍拡張——自利を争ふ三国軍縮会議……………石丸藤太

局面打開へ／各国の主張／妥協的な米案／利己的な英国案／漠たる日本案／主力艦問題／巡洋艦問題／

軍備縮少か軍備拡張か

東方会議の意義……………植原悦二郎 九五―九九

イタリーと結ぶ国々——アルバニアとハンガリーの内政外政…A・B・C 一〇二―一一一

アルバニアとユーゴ——恵まれ過ぎた位置／珍らしい未開国／立消えの国王陛下／三十三歳の酋長／貧

故の身売り／イタリーとハンガリー／独裁首相ベトレン／両条約の影響

英国の上院改革問題……………柳沢慎之助 一一四―一二三

海への出口を求むるブルガリヤとハンガリー……………S・A生 一二四―一二八

はしがき／ブルガリヤ／ハンガリー

雑 纂

松原博士著 外交及外交史研究……………一二―一二

支那人の面子……………W 一三一―一三

委任統治の類型（近着の独紙より）	二四―二五
海外風聞録 ロシアの改暦／死ぬにも金が掛る／バイブルが第一	三二―三三
外交と新聞	五四―五五
海外風聞録 バ伯健康の秘法／十三といふ忌数	六四―六五
対米問題は非	七六―七七
米国の海外投資額	九四―九五
海外風聞録 チエツコ国のソコール	九九―九〇
海の外	一〇〇―一〇一
世界人口の最も稠密な国土／米国の殺人犯／茶が吞みたさの盗み／語学の天才娘／ムソリーニの夢／女	
と家庭	
モルタの郵便切手	一一―一一
海の外	一二―一二
英国人の性格／ベートヴエンと各国民／亜細亜の婦人解放運動／婦人陪審官の厳正／女人禁制共和国	一三―一四
海外風聞録 エルサレムより／独逸恐るゝに足らず／ブラジルへの移民	一五―一六
聯盟の活動(12)	一七―一八
近く開かるべき聯盟主催の諸会合／第四十五回理事会／ダンチツヒ自由市／国際法典編纂／幼児死亡に	一九―二〇
関する会議／青少年保護／国際経済会議／理事会開期問題／内水航行統計の統一／国防予算の問題	
本協会ニュース 六月中	二一―二二
評議員会／児童部の近況／（学生支部の近況）／帝大／商大／日本女大／京城大学／横浜高商／立教大学	二三―二四

／京大支部／関西大学／青山学院／東京高師／早大／明大／慶大支部／古屋女子英学塾／桐生高工／学生支部関西聯合会／学生支部関東聯合会／模擬総会第一回準備委員会／第二回準備委員会／布哇日本学生歓迎／（関西、九州講演旅行）／広島高等師範／山口高商／山口高校／九州帝大／熊本第一師範／第七高等学校／神戸高商／関西学院／広島市／山口町／福岡市／熊本市／鹿児島市／学芸協力委員会／本会々員

斎藤石井両全権に打電——昭和二年七月十九日……………国際聯盟協合理事会 一三五—一三五

第七卷九号（一九二七年九月一日）

時評 今日歴史……………時評子 二—一二

成らざりし軍縮會議／日本の調停案／問題はニインチ／国際政治の一転機／大同団結お預け／三角同盟

／これが支那／南京政府の関税自主／日独通商条約／ウイーンの暴動

軍縮會議決裂の後に……………代議士 田川大吉郎 一四—二五

ジュネーヴ會議の末路……………男爵 坂本俊篤 二五—三五

會議不成功の真因／各国全権声明の解剖——七月十日第一回行詰後／各国全権の弔辞／三国共同宣言／

會議決裂後の趨勢

英露断交後の国際政局……………法学博士 松原一雄 三六—四〇

南京政府の不当課税、関税自主——支那時局の安定が根本問題

大陸日本政策の前景——露西亞、支那、及列国との関係……………	松本鎗吉	四一―五〇
ロカルノーカルール政策か——仏独関係の緊張……………	富士辰馬	五一―五九
太平洋問題調査会第二回ホノルル大会を観る……………	高木信威	六〇―六六
小論小話……………	青木節一	九七―一〇二
満蒙に対する積極政策……………	清沢冽	一一四―一一六
アンチ・ヘブライスム……………	大竹博吉	一一六―一一七
軍縮漫語……………	永井万助	一一七―一一九
時代の相違……………	早坂二郎	一一九―一二二
政府の訓電……………	花園兼定	一二二―一二五
雑纂……………		
国際問題研究大学院の確定プログラム——一九二七年―二八年……………		一三一―一三三
講座及ゼミナール／国際機関に関する講座及ゼミナール／特殊問題に関する短期講座		
ロシアの書籍輸出状況……………		四〇―四〇
大映画製作場……………		五〇―五〇
外交上より観たる江戸城明渡……………	尾佐竹猛	六七―七三
露西亞の人口……………		七三―七三
海外近事片々……………		七四―八〇
世界関税思想の変化／加奈陀の六十年祭／印度陸軍は英国帝国主義の走狗ではない／ラインランドの守		

り／死海の大富源／樹木は日々伸縮する／何処にも多い少女の家出／ロシアの通貨	八一―八一
国際聯盟と小学教育——聯盟の本場英国に於ける論戦とギルバート・マレーの所論	八二―九六
航行夜話(一)——印度洋太平洋地中海を巡りて	八二―九六
二度目の洋行／練習艦隊の出港／海へ／艦上生活／上と下／一つの出来事／上海	九六―九六
日英同盟は何故廃棄されたか	九六―九六
英語綴字法改良の経済的側面	一〇二―一〇二
サツコ・ヴァンゼツチ事件——世界を騒がした靴職工と肴屋	一〇三―一〇六
軍備下の世界——依然たる武装の平和	一〇七―一一三
戦前よりも充実した軍備／ドイツ／フランス／イタリー／ロシア／イギリス／支那／日本の新陸軍／アメリカ	一一三―一一三
選挙競争にラヂオの効用	一二五―一二五
国際聯盟の活動(13)	一二六―一二九
最近の国際聯盟主催会合／国際救助聯合の設立／経済委員会／通貨偽造防圧の問題／学芸協力の諸問題	一二六―一二九
／委任統治	一二六―一二九
ロシアの学生数	一二九―一二九
本協会ニュース 七月中	一三〇―一三一
(日誌)／第六十九回理事会／第七十回理事会／出版／本会々員／国際聯盟協会第十一回聯合会	一三〇―一三一

第七卷一〇号（一九二七年一〇月一日）

時評 今日の歴史……………時評子 一一二

蒋介石ケシ飛ぶ／その後の南方／関税自主未遂／山東撤兵／満洲の低気圧／『日本を追へ』／国際人口会議／ドイツと委任統治／反動思想来

論叢

日支関係の将来……………長野朗 一三二

内政干渉問題／民族運動と日本／日支の経済関係／日支と満蒙問題

墨西哥に於ける過激運動及び労働運動の概観……………比地野空悟 二三一

小協商国の過去現在及び将来……………中平亮 三五一

小協商国の発生／小協商国と外国との結合／小協商の破綻／小協商内部の不一致／小協商国と列強／小

協商国の将来

東欧を挟んで——労農ロシアを圍繞する欧洲諸邦……………三島泰雄 四五一

日露経済関係の現状……………茂森唯士 五八一

日露経済関係の基礎／日露漁業問題経緯／北樺太の石油利権／北樺太の石炭利権／日露の森林利権／オ

ホツク金鉱利権其他／日露貿易の現況

満蒙の鉄道係争——興味ある日露支相互関係……………菅原友親 七〇一

満洲と鉄道／我が積極政策と支那／排日のため交渉中止／完成に近き打通鉄道／開吉線の起工／奉海線

竣工す／斯くて満鉄を包围せんとす／東支鉄道の新計画／込み入った鉄道協定／打通線の経済的地位と
英吉利／張の東支鉄回収熱／支那に有利／積極的な張作霖／日露提携の気運動く

米国の廢兵待遇問題……………米國廢兵局員 エドウィン・デクスター 七八―八五

欧洲大戦と廢兵／英米仏三国の廢兵とその保護／米国に於ける経費とその効果／収入力の増進／英米仏

三国の経費比較

辞職せるセシル卿……………K・I生 八六―九〇

セシル卿とグラッドストーン／甚大なる損害／国際聯盟人としての彼／善と善との衝突／避け難い政治的

悲劇

埃及の巨人逝く……………T・H生 九〇―九三

小論小話

印度支那について……………町田梓楼 九四―九七

排日物語……………鵬鯤生 九七―九九

帝国主義と赤色帝国主義……………広岡光治 九九―一〇一

頂門の一針……………洋々学人 一〇一―一〇三

甘肅の地震……………石川生 一〇三―一〇五

雑纂

米国の二大洪水…………… 六九―六九

欧洲よりも英帝国…………… 七七―七七

航行夜話(二)——印度洋太平洋地中海を巡りて……………須磨弥吉郎 一〇四―一一四

杭州行／南京行／再び上海へ

機械と文明……………一四一—一四四

海外近事片々……………一記者……………一一五—一二二

英国の戦時債権協定完了す／委任統治に主権が伴ふ／国際聯盟は四巨頭の機関か／戦争と食料問題／グ
レー卿の軍縮會議論／米国の外債制限論／クーリツジ主義とは何か／白人婦女売買は今尚盛ん／世界大
戦出征軍人の会合／世界金の産出額

国際聯盟の活動⁽¹⁴⁾……………国際聯盟事務局東京支局調……………一二三—一二五

最近の国際聯盟主催会合／第四十六回理事会議題／交通通過問題／航空機材製作の問題／飛行場設置の
調査／学芸協力の問題／雑録

第八回国際聯盟總會日誌……………一二六—一二八

九月五日／九月六日——瑞典代表の理事会攻撃／九月七日——平和議定書復活論の擡頭／九月八日——
白国外相の仲裁々判主義支持／九月九日——侵略戦争禁止案提出さる／九月十日——国際法典編纂促進
説／九月十一日は日曜にて休会／九月十二日——一般討議終る

拉丁アメリカとモンロー主義……………一三一—一三二

本協会ニュース（八月中）……………一三二—一三三

招待会と地方講演／出版／会員の現在数／新入会者／会員の転居

第七卷一 一 号（一九二七年一月一日）

時評 今日の歴史……………二一三

頓挫せる滿蒙交渉／三番叟的内容／日本への脅威／支那の魂胆／日露近づく／文字上の団結／閩錫山起

つ／安全保障と軍縮／軍縮の邪魔物／露波条約

反動化世界相と平和難……………水野広徳 一四一三三

平和は何故来ぬか／個人道徳と國際道徳／平和確立の要件／世界平和と帝國主義／大国の專横と聯盟の
癰／平和議定書に返へれ／國際聯盟の危機を救へ

國際聯盟に於ける大国小国の扞格問題……………倫敦 ラウンド・テーブル誌 二四一三五

はしがき／小国の立場／大国に対する非難／問題の核心

第八回國際聯盟総会の業績……………松原一雄 三五一四四

ソビエツト・ロシアは何処へ行く？……………広岡光治 四五一五六

はしがき／ソビエツト・ロシアの意義と使命／資本主義の強固性／ロシア一国の社会主義化／ソビエツ

ト・ロシアの内憂外患／将来を決定する鍵は何か／露國に於ける個人資本／小ブルジョアの勢力／悲觀

樂觀兩派／ロシアの将来はどうか

國際聯盟と露西亞、土耳其、独逸及び東亞——國際聯盟に加入せざる国々に在りて

……………花岡止郎 五七一七〇

はしがき／聯盟埒外の国／露西亞に在りて／土耳其に在りて／聯盟加入前の独逸に在りて／聯盟觀二三

／東洋と国際聯盟／結言

滿蒙土地所有權と排日運動……………

桜井浩

七一―七八

無警察国の平等条約／特殊地位とは何か／土地商租の曲筆曲解／日本の生きる道如何

象牙の塔を出た閻錫山——彼が山西施政の一面……………

船橋生

七八―七九

共產党と絶縁した国民党——その前途はどうか疑問であらう……不退生

八〇―八五

長く分裂状態にあつた／国民党の三派合同は／中央特別委員の顔ぶれ／党の内部組織はどうか／その主義政策はどうか／外交方針はどうか／財政上の難関を切抜けるか／軍閥勢力の關係はどうか／将来は疑問であらう

米国より見たるフイリッピン問題——独立は前途遼遠か……………K・A生

八六―九三

比島独立問題と民主党の豹変／米国は比島を手離したくない／独立問題に対する米国朝野の意見／ジョーンズ法と比島の政治／ジョーンズ法骨抜きとなる／国家社会主義施政に米人恐れる／財政は破産状態

／禍根はハリスン総督の放任政策にある／ウッド將軍代る／ウッド総督への反抗熱／クエゾン独立案を通過さす／施政大いに刷新さる／本国政府の対比島政策の曖昧をウ氏苦しむ

革命十周年を迎ふる新ロシアの概観……………

九四―一一三

国号／国章と国旗／政治／共產党／教育／軍備／外交／産業／貨幣／租税／社会施設／名称の変更／公休日／婦人の活動／男女關係／婚姻法／結論

露西亞共產党内争の深化——現幹部派に対するトロツキイ派の策動……………

富士辰馬

一一六―一二三

はしがき／反对派の存在は有意義／用意周到な幹部派／レニニズムへの対抗／幹部派の見解は何か／イ

ズウエスチャの社説／トロツキイの見解／反対派の策動が心配／相降らぬ両派の抗争

海上封鎖権を聯盟の手に委ねよ——英国労働党の主張

..... 「ゼ・ニユー・リーダー」主筆 ブレールスフォード 一二四—一二六

日印間の関税戦争——両国貿易上の大障礙..... 萩原勉 一二六—一二三

日本を目標の関税引上げ／我が抗議も効なく遂に通過す／綿糸関税引上げの理由／印度紡績業の振はざ

るは何故か／英、印利害の相反／我が紡績業の打撃／我が対印度貿易の危機か／日本の対抗策／英国製

品との角逐は不可避か／隴を得て蜀を望む印度／日印間の関税戦争／綿と鉄の取組角力／日本は印度の

一上得意

雑纂

独逸の対露政策..... 五六—五六

地震は一分間毎にある..... 五六—五六

世界的偉人と文豪ユーゴーの予言..... 七〇—七〇

印度と満蒙..... 八五—八五

新渡戸博士地方巡回講演..... 九三—九三

G O S S I P 世界戦争とカラ約手..... X Y Z 一一四—一一五

海外近事片々..... 一三四—一四〇

独逸青年と国防予算／仏国に於ける露国婚姻法／ムツソリニーと独身税／授業料を増加せよ／製艦費の

増加は軍備制限の最大保障／石油と巴奈馬運河の利潤／世界の自動車／米国よりも欧洲に金が落ちる／

海洋の深さを独逸海軍省発表す／飛行機に依る節約／ジユヴネル、ブリアン往復書翰／外国大学学生の

ため

第八回国際聯盟総会日誌……………一四一―一四九

九月十三日——各種委員会開く／九月十五日——キューバ、フィンランド、カナダ非常任理事に当選す

／九月十六日——総会各種委員会討議に入る／九月十七日／九月十八日——波蘭提出の侵略戦争禁止案、委員会で採択さる／九月二十日——各委員会の事業報告の審査開始さる／九月二十二日／九月二十

三日／九月二十四日／九月二十六日——諸決議案総会で可決さる／九月二十七日——本日にて閉会

国際聯盟の活動⁽¹⁵⁾……………国際聯盟事務局東京支局調 一五〇―一五二

最近の国際聯盟主催会合／第三回交通會議／新聞専門家国際會議／第四十六回理事会／第四十七回理事會／第二十八回財政委員會／関税用語の統一

航行夜話^(三)——印度洋太平洋地中海を巡りて……………須磨弥吉郎 一五三―一六三

香港／広東行

休戦九周年記念大会に就て……………一六三―一六三

本協会ニュース（九月中）……………一六四―一六四

（日誌）／児童部より／出版／会員

日英聯盟協会の握手……………一六五―一六五

第七卷一二号（一九二七年二月一日）

時評 今日の歴史……………	一―一二
行衛不明の満蒙交渉／張の入れた一札／打通線全通／日露関係の整理／北支那の戦局／南支那の形勢／唐生智の立場／軍縮会議と露国／ラコウスキー事件／日米親善の傾向／編者より読者へ	
一九二七年世界大観（特輯）	
支那の内治と外交を顧みて……………	一三一―一二二
内政の概観／外交の概観……………	長野朗
一九二七年の英国……………	島谷亮輔
二大政党の将来／労働組合の権力減殺／産業争議の実物教育／産業的平和の高唱／目標は次の総選挙／上院改革論／婦人参政権の拡張法案／資本課税論の放棄／自由党の分離／財政膨大の傾向／紡績業の困難／国際関係……………	四三―四六
昭和二年の米国を観る……………	清沢洌
米国の国際的位置とその背景／米国の富の程度／米国とメキシコとの関係／中米諸国の反米熱／米国と欧洲の関係／本年度の国内の諸問題……………	三六―四七
フランスのルネッサンス……………	佐々木修一郎
戦死者記念碑の前に／財政の浄化／総合的再建／ロシアとフランス／独英伊／植民地／ユニオン・ナシヨナル……………	四七―五五

本年ドイツの総勘定……………中平亮 五五―六六

はしがき／マルクス第四次内閣の成立／小学校問題／国防問題／ラインランド占領軍の削減／経済的恢復

独逸外交の諸問題……………神田襄太郎 六六―七七

ストレーゼマンの外交政策／国権党入閣の経緯／ラインランド撤兵問題／ラインランド占領軍減兵の経緯

／対露関係／対波蘭関係と東欧ロカルノ問題

ソヴェト外交の種々相——主として英露断交の諸背景について

……………大竹博吉 七五―八七

はしがき／英露断交事件の前後／断交の表面的前提としての諸問題／ロシアと資本主義国／ロシアを中

心とする国際関係／石油戦／ソヴェト包囲策の現状／軍縮とソヴェト・ロシア

独裁治下の西班牙……………堀敏一 八七―九七

独裁政治五周年／国民議會の召集／「西班牙人の西班牙」へ／西班牙の愛蘭／対外関係の一瞥／独裁政

治の批判

ファシスト伊太利の内治外交……………宮本潔 九七―一〇二

はしがき／ファシスト外交の躍動／一般内政の鳥瞰／ファシスト党勢の近状

国際聯盟の一九二七年……………青木節一 一〇二―一一一

はしがき／本年の業績／結論

雑纂

国際聯盟既往一年間の事業——第七回総会後より第八回総会閉会まで

.....一記者.....一一二―一二五

はしがき／軍縮問題の進行／保障問題の擡頭／委任統治問題／経済方面の事業／財政方面の事業／政治問題／法律問題／其他の事業

海外近事片々.....一記者.....一二六―一三〇

波斯的の財政改革／米国の大学の新教授法／人間の速度の極限／大家族を歓迎する世界的傾向／仏国学者と

人命百二十五歳論／米国農民の困窮状態／ラコウスキー事件とチチエリンの通牒／ラヂオの英語

国際聯盟の活動⁽¹⁶⁾.....国際聯盟事務局東京支局調.....一三一―一三四

最近の国際聯盟主催会合／阿片取引の問題／通貨偽造の禁遏／内水航行統計／経済會議の決議と各国政

府

模擬聯盟總會概報.....一三一―一三四

模擬聯盟總會感想.....一讀者.....一三五―一三六

本協會ニュース（十月中）.....一三七―一三八

（日誌）／児童部／学生支部……／学芸協力委員会／東北六県宣伝旅行／出版／會員

編輯後記.....一三八―一三八

第八卷一号（一九二八年一月一日）

時評 今日の歴史.....一―一三三

一九二八年の問題／安全保障／軍縮全廢論／世界の嘲笑／張、楊の放言／魂胆は如何／無電の縛／広東會議は何うなる／出兵如何／東欧の癌／バルカンの低気圧

東西両洋の政治思想の考証……………エー・ビー・エー・エム 榊居伍六 一四―二五

緒論／基礎的政治概念の分析／古代ギリシヤ人の政治経験／「多元」否定の支那思想／孟子の政治観／太古支那人の政治的経験／結論〔※著者名は本文と号表紙による。目次では榊井伍六〕

人口過剰と戦争必然性の条件——資本主義下に於て戦争は果して廃し得べきや

……………松下芳男 二六―三八

世界平和の促進へ——国際戦争の廃止、防止並に制限策……………洋々学人 三九―五六

戦因尚存す／戦争の全廢は前途遼遠／戦争の防止策／戦争の制限／結論

現実曝露の満蒙交渉……………中山優 五七―六五

楊宇霆氏の放言問題と満蒙交渉……………小川節 六六―七三

放言の内容／内容の真否如何／楊氏の本心如何／張作霖氏の態度／排日態度の動因／米国と満蒙／満蒙の現状／結論

支那に於ける独逸の經濟的進出——注目すべき其将来……………菅原友親 七四―八五

対支共同干渉論の傾向……………石川成邱 八五―九一

独逸国民に代つて国際聯盟に与ふる書……………柳沢慎之助 九一―一〇二

はしがき／戦争責任は熨斗をつけて返上する／共和政治は独逸伝来の理想／独逸は国際聯盟の始祖／聯盟に対する独逸の抱負

外誌論文紹介

- ファシスト革命は成功の希望あるか（倫敦タイムズ紙）……………一〇三—一一
 始めはファシストを知らず／ファシストの目的／雇主等の失望／ファシストの狡猾／労働者の態度／政府は万事の世話をする／放肆あつて自由なし／新国家の空気……………
 ニカラガ国の近状（カレントヒストリ誌）……………一一二—一二四
 庶政紊乱のニカラガ／国土、地勢はどうか／頻繁極まる政争／国防軍の現状／不安な大統領の地位／腹黒い將軍／擾乱勃発／平静な革命／軍略へ邁進／民意に反する大統領選挙／背後の黒影／来年の一般選挙……………
 混乱の阿弗利加（紐育フォレンジアフェア誌）……………一二四—一三三
 欧米資本の流入と社会問題の発生／欧洲諸国、阿弗利加問題の共同解決の必要を認む／国際義務の拡張／国際競争と小国の恐怖／阿弗利加問題と合衆国の立場……………
 雑纂……………
 海外近事片々……………一三四—一三八
 欧米化学戦の開始／人口繁殖率／両極に富源あるか／女は男よりも強い／一身の自由なき米大統領案内……………一三八—一三八
 談話会／一九二八年カレンダー／図書室より……………
 国際聯盟の活動(17)……………聯盟事務局東京支局調 一三九—一四〇
 最近の国際聯盟主催会合／委任統治委員会／聯盟会館図案の選定／マラリア委員会／保健委員会／国際貿易会議／国際法典編纂国際会議／雑録……………
 本協会ニュース（十一月中）……………一四一—一四二

第八卷二号 (一九二八年二月一日)

主張 不戦条約を歓迎す	本協会(大熊)	一―六
英国労働党の植民地政策	川原次吉郎	七―一二
世界人口会議に列して	乾精末	二三―三三
上院問題から見た英国の政治	高橋清三郎	三六―四六
新国際衛生条約と聯盟保健部の任務	前保健部東洋支局次長・医学博士 佐藤正	四七―五二
ハヴァナ会議の背景	永井万助	五三―六二
米国大統領選挙	藤井新一	六三―七二
選挙方法(其の一)／選挙方法(其の二)／大統領候補の アヴェーラビリテイ／民主党共和党の各候補者		
／大統領選挙と関係深き上院の改選／大統領選挙の影響		
支那革命の新方向	三島泰雄	七三―八五
広東革命の特性／露国の支那革命／武人の革命軍／農民革命の時代／農業革命思想の発生／農民革命の 実施／農業革命の効果		
広東赤化革命の詳報	渋谷五羊城	八六―九五
工農兵聯合赤衛軍広州市占領事件／政府軍の対戦／全市被害状況／工農赤衛軍宣言布告一束／影響一般		

工農赤衛軍暴動事件補遺	九六―九七
参加軍隊／市内被掠統計／知名士銃殺／香港官憲活動／暴動事件後、工会状況／雜記	
雜 纂	
悲喜交録	三五―三五
新刊紹介	九八―一〇〇
Japanese Traits and Foreign Influences, by Dr. Nitobe, Kegan Paul, 1927. (大熊)／Nationalism and Internationalism, by Ramsay Muir. (X、Y、Z)／(国際聯盟出版物——財政經濟に関するもの)／国際統計年鑑／各種重要工業に関する調書／通貨及中央銀行に関する調書 (一九一三年―一九二五年)／国際受払及外国貿易に関する調書／関稅率標準指数／財政に関する調書／国際經濟會議最終報告	
セシル卿下野第一声	一〇〇―一〇〇
国際聯盟の活動(18)	一〇一―一〇四
最近の国際聯盟主催会合／第四十八回理事会の成績／財政委員会／聯盟会館設計基礎案の確定／雜録	
本協会ニュース 十二月	一〇五―一〇六
(日誌)／学生支部／学芸協力委員会／出版／会員	
編輯後記	一〇六―一〇六
資 料	
波蘭リテアニア紛争解決の経緯	一―一六
第四回軍縮準備委員会に於けるソヴェエツト代表の演説及提案	六一―一〇
リトヴィノフ氏の演説／ソヴェエツト政府の軍縮提案／ソヴェエツト政府提出の決議案	

更生せる国民党及国民政府……………塩津誠作
六五―七〇

英国の婦人参政権……………	伊藤亀雄	七一―七九
婦人に脅かされた大蔵大臣／差別待遇の婦人参政権／婦人、内閣を倒す／政党と婦人有権者／婦人の政務官／遂に婦人天下		
在満鮮人問題……………	石川成邸	八〇―八九
ソビエト聯邦事情……………	宮川船夫	九〇―一〇四
政治組織の変遷／ソヴィエト社会主義共和国聯邦組織／聯邦国の統治者と共産党／聯邦と人種問題		
再びジュネーヴの国際問題研究大学院に就て……………	青木節一	一〇五―一〇五
国際聯盟の活動 ⁽¹⁹⁾ ……………	聯盟事務局東京支局調	一〇六―一〇九
最近の聯盟主催会合／国際聯盟經濟機關の改造／經濟委員會の会合——国際統計會議の開催／学芸協力の問題／武器密輸入問題／会計審査委員會／人事二件		
新刊紹介……………	X・Y・Z	一一〇―一一〇
G. Engelmann : Political Philosophy, from Plato - Bentham. Translated into English by K. F. Geiser, New York, 1927／Elmer Gantry, by Sinclair Lewis, New York, 1927.		
昭和三年度一月分本協会購入図書……………		一一〇―一一〇
本協会ニュース（一月中）……………		一一一―一一二
（日誌）／学生支部／学芸協力委員會／第六回起草、審査委員総会／国際民俗芸術會議／出版／會員編輯後記……………		一一二―一一二
資料		
輸出入ノ禁止及制限撤廢ニ関スル国際条約（邦文）……………		一一一―一一一

- 対支文化事業と阿片問題……………菊地西治 六二―六六
 歧路に立つ印度——注目すべき憲法審査の成行……………柳沢慎之助 六七―七四
 米國は何故に好景氣が続くか——景氣の人為的統整……………富田清万 七五―八〇
 露國労働者の境遇は良いか？……………広岡光治 八一―九〇
 労働階級の一般情勢／労働賃銀／住宅問題／労働法による労働者保護／労働法適用の除外／失業者と其
 救済／結論……………栗飯原晋 九一―九五
 國際紛争と交通通信機關の総動員……………山口慎一 九六―一〇五
 支那平民教育運動の經過……………
 序／その胚胎時代——民國七年から八年まで仏蘭西に於て、民國九年から十一年まで本國に於いて／そ
 の提唱時代——民國十一年から十四年まで／その実験時代——民國十四年秋より現在に至る／結び
 聯盟の活動(20)……………聯盟事務局東京支局調 一〇六―一〇九
 最近の聯盟主催会合／國際法典編纂會議——第一回準備委員會／手形法律の問題／輸出入禁止制限撤廢
 國際條約の調印進捗す——その第二回國際會議の開催／軍備縮少會議——第五回準備委員會／各國に於
 ける聯盟教育／聯盟行政審判所／新聯盟會館への寄贈／人事／聯盟出版物の包括予約……………一一〇―一二二
 新刊紹介 國際聯盟の保健衛生出版物……………
 定期刊行物／人口統計／保健施設／伝染病／癌／マラリア／肺結核病及嗜眠病／血清の統一、血清反応、
 生物学上の研究……………
 本協會ニュース 二月中……………一一三―一一四
 (日誌)／学芸協力委員會／出版／會員……………

編輯後記……………一一四―一一四

資料

日米仲裁裁判条約（現行）（邦文）……………一一五―一一五

米仏間不戦条約に関する往復文書（英文・仏文）……………〔※巻末より〕 1―11

米仏間新仲裁裁判条約、ブライアン条約及び旧ルート条約（英文）……………12―19

第八卷五号（一九二八年五月一日）

主張 軍備縮少準備委員会は軍備全廃案を議する権限なきや…本協会（奥山）……………一―四

米国を中心とせる国際仲裁々判——国際仲裁々判の政治的意義（続）……………

……………蠟山政道……………五―一九

米国外交政策の基調／米国を中心とせる仲裁々判／不戦条約に於ける仲裁々判の地位……………

革命的形勢の変化——最近支那一年の回顧……………神尾茂……………二〇―二七

はしがき／田中内閣の使命／革命勢力の分裂／対外関係の変化／ロシヤの苦い経験／支那と列国の一致……………

点……………

支那関税問題と列国の態度……………小川節……………二八―三六

支那南北の形勢……………長野朗……………三七―四五

日本共産党事件と日露の国交……………大竹博吉……………四六―五二

本年の国際労働総会に就いて……………	北岡寿逸	五三―六一
最近軍備縮少運動の四潮流……………	大熊真	六二―七三
国際聯盟の軍縮案／ロシアの軍備全廃案／英の主力艦制限案／アメリカの不戦条約案／四案の比較		
日露漁業条約の検討……………	茂森唯士	七四―八四
日露漁業問題の沿革／新漁業条約の検討／細目協定問題		
支那に於ける外国金融資本——支那に於ける外国銀行……………	岡野一朗	八五―九七
外国銀行の発展／各国銀行の内容／外国銀行の金融統制		
委任統治制度の法理的本質……………	牧内正男	九八―一〇六
緒論／委任統治地域に対する統治権の問題／結論		
聯盟の活動(2)……………	聯盟事務局東京支局調	一〇七―一一一
最近の聯盟主催会合／第四十九回理事会の成績／国際統計会議の開催／国際救助聯合委員会／関税税目の統計／雜録		
新刊紹介 藤井新一『米国政党政治の観測』／西山栄久『最近支那地理』……………		一二―一二
第八回通常総会通知／第四回地方支部長会議通知……………	社団法人 国際聯盟協會	一二―一二
本協會ニュース 三月中……………		一三―一四
(日誌)／学芸協力委員会／出版／会員		
資料		
米国政府提案 多辺的不戦条約案(邦文)……………		一一―一二
通牒全文／条約草案		

第八卷六号（一九二八年六月一日）

主張	第五回軍縮準備委員会後所感	本協会（奥山）	一—五
主張	済南事件と国際聯盟	本協会（大熊）	五—九
支那の秩序恢復と国際聯盟		法学博士 泉哲	一〇—一六
第三者より見たる日支間の満洲問題		西山栄久	一七—三一
緒言／満洲問題の資料と研究方法／満洲は如何なる地域なりや、また如何にすべき地域なりや／批判の			
一 概評／批判の二 支那側の政策と之に対する批判／批判の三 日本の主張し得べき点と之に対する			
批判／結言			
済南事件に就いて	大西崙		三二—三七
国際的民俗芸術會議の意義	小寺融吉		三八—四六
次の軍縮會議に就て——一九三一年以前には不可能	石丸藤太		四七—五八
列強の補助艦競争／三国軍縮會議失敗の原因／英米海権の争ひ／主力艦の制限／海権の管扼と海洋の自			
由／仏伊の態度			

大統領選挙戦の諸問題——旬日に迫った公認候補選出大会……清沢潤	五九一六七
六月中に行はれる両党の大会／『候補者の病氣』たる沈黙癖／カソリック教の問題／禁酒問題と大統領 ／両党禁酒問題に悩む／不正選挙費寄附問題／勝目はやゝ共和党に	
ドイツの総選挙……福田吉蔵	六八一七五
日支関係の危機……石川成邸	七六一八五
新興アフガンの国際関係……伊藤亀雄	八六一九四
マークのない新興国／国境を封鎖して／英露の勢力争ひ／王位篡奪的一幕／即位から独立まで／教育第 一主義／日本をモデルとして	
米国とニカラガの内乱及び其の運河……高村経徳	九五一一〇四
支那に於ける外国金融資本（続）……岡野一朗	一〇五一一九
〔※無題〕／借款投資／各国鉄道利権概表／外国金融支配の破綻	
聯盟の活動 ⁽²²⁾ ……聯盟事務局東京支局調	一二〇一一二六
最近の聯盟主催会合／第五回軍縮委員会／婦人児童売買問題／児童福祉問題／青少年保護委員会／阿片 委員会	
各国に於ける国際聯盟に関する教育……	一二六一二二六
ハンガリー／オーストリア／ブルガリア／ニュージーランド／オランダ	
本協会ニュース 四月中……	一二七一二二八
（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員	
資料	

米仏間不戦条約に関する往復文書（仏文）	115
仏国政府提出の不戦条約案（仏文）	517

第八卷七号（一九二八年七月一日）

主張 支那を救ふの途	本協会（奥山）	116
支那問題と国際聯盟	法学博士 松原一雄	712
インターナシヨナリズムの社会学的基礎	中島重	1321
英米海軍問題の展望と海洋自由	高橋清三郎	2133
支那の復興か頽廃か——北伐完成と国民革命の将来	中山優	3442
仏独総選挙後の政局	柳沢慎之助	4351
満蒙国難と満蒙新政策の基調	武内文彬	5259
仏国の金本位復帰とその財政経済上の経過	山崎靖純	6070
仏国に於ける左翼運動の一理論——ジュール・ゲードとゲーデイズム	好富正臣	7178
マルクシズムの仏国輸入／ゲードの学説／仏国社会運動に与へたるゲードの影響		
新刊紹介 国際経済政策	大熊	78178
日露の政治関係と経済関係	茂森唯士	79190

〔※巻末より〕

日露の基本的関係／露国現時の国際的地位／日露の政治的諸関係／日露の経済的諸関係
南支の親英政策批判……………洪谷剛 九一—一〇〇

香港総督の広東訪問／李主席の香港訪問／相反する二つの観察／英国の対南支政策転換／広九・粵漢両
鉄道連絡問題／批判の一 黄埔開港の価値／批判の二 広九・粵漢連絡の価値／批判の三 英国の南支
外交

露独経済会議の決裂……………広岡光治 一〇一—一一一

革命後の露独関係／独露経済関係／独逸経済界の近情／ロシア経済の現状／露独経済会議の経過／経済
会議の決裂

人道主義者アスキスの生涯——一八五二、九、一二—一九二八、二、一五

……………西村熊雄 一一二—一二三

公人としての彼／私人としての彼

聯盟の活動⁽²³⁾……………国際聯盟事務局東京支局調 一二四—一二八

最近の聯盟主催会合／第九回総会の仮議題／保健委員会——第十二回会合の経過／経済諮問委員会／国

際聯盟のラヂオ放送／雑録

軍事問題新刊書……………一二八—一二八

協会ニュース（五月中）……………一二九—一三一

（日誌）／学芸協力委員会／出版／会員

資料

対支武器輸出禁止に関する協定（邦文）……………一一二

日本政府が聯盟に提出せる濟南事件事情（邦文）	二一四
新仲裁裁判条約の解釈に関する米仏交換文書（英文）	一〇二
不戦条約案に関するケロッグ氏の演説（英文）	二〇五
濟南事件に関する南京政府の対聯盟訴願（英文）	六〇七

第八卷八号（一九二八年八月一日）

主張 支那の遷都	本協会（奥山）	一〇四
国際聯盟の真相	子爵 石井菊次郎	五二〇
国外出兵の理論と実際	法学博士 信夫淳平	二一三四
フーヴァー対スミス——大統領選挙戦	藤田進一郎	三五四二
英国に婦人の時代来る	伊藤亀雄	四三五一
政界に於ける婦人の輸入超過／昔は女人禁制／反対論の根柢／貴族院の態度／婦人と政治／夫婦ものの議員／選挙界の浄化		
ムソリニの功過——無理は到底永続せぬ	塩津誠作	五二一六〇
博覧会行幸直前の爆弾／労資争議の強制的仲裁／不言実行を自画自讃す／社会主義より鞍替した／全伊太利を単一選挙区／ムソリニと皇帝の確執／国粹党首継承方法如何／国粹以外青少年団解散／精励恪勤は亦格別なり／誇負と自我何時迄続く		

日系カナダ人の漁業問題……………	乾精末	六一―六八
米加排日経験の類似／欧米に於ける漁業制度の背景／日系加奈陀人の漁業／漁業権に対する判決／上訴の能否如何／結論……………		
新しき支那と満洲……………	石川成郎	六九―七六
英国委任統治下の猶太植民地現況……………	高村経徳	七七―八五
ザイオニスト運動の破綻／パレスチン猶太人の業績／猶太移民と土着アラ比亞人／英政庁は猶太移民に無関心／猶太移民潮来の激減……………		
国際的通信機関 A・P の組織と運用……………	棟尾松治	八六―一〇〇
A・P 組織の由来／A・P 現在の組織／国内ニュースの蒐集及交換送達／海外ニュースの蒐集及交換送達／会員の権利及義務……………		
聯盟の活動 ²⁴⁾ ……………	国際聯盟事務局東京支局調	一〇一―一〇三
最近の聯盟主催会合／第五十回聯盟理事会／癌種専門家小委員会／聯盟のラヂオ放送／聯盟の出版物／人事……………		
本協会ニュース（六月中）……………		一〇四―一〇六
（日誌／本協会第八回通常総会／学芸協力委員会／出版／会員資料……………		
米国不戦条約案に対する列国の回答（独文・英文）……………	〔※巻末より〕	一―一三
米国提出の第二次不戦条約案……………		一三―二〇

第八卷九号（一九二八年九月一日）

主張 真の日支親善……………	本協会（奥山）……………	一―四
不戦条約に対する各国の態度……………	田川大吉郎……………	五一―一九
国際主義の基礎觀念……………	藤沢親雄……………	二〇―三六
戦争防止の唯一手段——経済的デモクラシー……………	岡本鶴松……………	三七―四五
南京政府の諸問題……………	西山栄久……………	四六―五三
序言／党に関する政策問題／内政に関する問題／外交に関する問題／結言……………	下田将美……………	五四―六二
通商自由運動達成の基調……………	小川節……………	六三―七三
支那の裁兵問題……………	岡野一朗……………	七四―九二
支那革命の経済的要因——支那産業革命の現段階……………	伊達宗雄……………	九三―一〇二
国際労働総会と最低賃金条約案……………	牧内正男……………	一〇三―一一〇
タンジール国際地帯に関する新協定……………	……………	……………
モロッコ問題の起因／タンジールを中心としての渦巻／仏西協定続いて四国協定成立す……………	……………	……………
聯盟の活動(25)……………	……………	……………
最近の聯盟主催会合／安全保障委員会——第三回会合／学芸協力の諸問題／私法統一国際協会の開設／……………	……………	……………
国際法典編纂委員会——第四回会合の経過／マラリア委員会——最近の会合経過……………	……………	……………
本協会ニュース（七月）……………	……………	……………

一一八―一一九

(日誌)／学芸協力委員会／出版／新入甲種会員／会員転居

資料

最低賃金決定機関の創設に関する条約案(邦文)	一―二
最低賃金決定機関の創設に関する勧告(邦文)	二―四
国民政府の条約廃棄通牒と我政府の回答(邦文)	四―六
最低賃金決定機関創設条約案及勧告(英文)	一―八
第二次不戦条約案に対する我政府の回答(英文)	九―一〇
米支両国間の関税条約及関係通牒(英文)	一一―一四

第八卷一〇号(一九二八年一〇月一日)

主張 国際理解	本協会(奥山)	一―四
日本と支那	植原悦二郎	五―一〇
国際労働事務局長アルベール・トーマ氏来朝に就て	前田多門	二一―二五
ライン撤兵論	永井万助	二六―三五
印度国民運動の帰趨——再渡印するサイモン委員会	柳沢慎之助	三六―四四
ソヴェト聯邦における超アメリカ的経済発展の想定について	大竹博吉	四五―五八
過去における経済発展の速度／向ふ五年間の発展率／各国工業発展率との比較／アメリカ農業発展率と		

の比較／ソヴェト聯邦に於ける超アメリカ的經濟發展は可能なりや／ソヴェト聯邦の短所／結言

米國最近の産業政策……………大平進一……………五九―七三

陽気なる最近の經濟界／共和黨の産業政策／一般産業行政の實際(一)／一般産業行政の實際(二)／勞資の關係／勞資の協調に關する政府施設／工業行政の實際及び其の法規／貿易政策／最近の産業思潮

新興ペルシアの内治外交……………堀敏一……………七四―八三

瀕死より甦生へ／財政の改革／内政上の諸功績／國權回復の運動／英波條約の締結へ／露國及び回教國

との關係／日本とベルシア

支那共產黨の再生……………園田次郎……………八四―九二

アルバニアの政體變革……………高村經德……………九三―一〇〇

『不知の國』野性的國民／土國統治下のアルバニア／ゾオグ執政に至るまで／ユーゴ國の疑惑／伊國管

理下のア國財政

新刊紹介 ソヴェート・ロシア辭典……………山形誠一……………一〇〇―一〇〇

英埃關係の經過……………山形誠一……………一〇一―一〇九

新刊紹介 蠟山政道氏著「國際政治と國際行政」……………國際聯盟事務局東京支局調……………一〇九―一〇九

聯盟の活動(26)……………國際聯盟事務局東京支局調……………一一〇―一一三

最近の聯盟主催會合／第九回聯盟總會日報

本協會ニュース(八月中)…………………………一一四―一一五

(日誌)／學芸協力委員會／出版／會員

資料

主張 阿片条約批准せらる……………本協会（奥山） 一四

不戰条約批判……………	法学博士 末広重雄	五一—四
日本と滿洲の國際警察……………	法学博士 泉哲	一五—二四
英仏協定の無遠慮評……………	水野広徳	二五—三三
三国會議と英仏協定／英仏協定の疑惑／英仏協定と聯盟軍縮／補助艦問題の跡仕末		
支那は日本に何を求むるや……………	西山栄久	三四—四五
五院制度論……………	松本鎗吉	四六—五五
新刊紹介 藤岡啓『滿蒙を新らしく見よ』……………		五五—五五
第九回聯盟總會概要……………	大熊真	五六—七二
總會の開會／一般討議／判事補欠選挙と理事改選／第九回總會の成績……………		

満洲に於ける日露の角逐——貨物争奪戦……………	茂森唯士	七三—八二
産業上の集中主義と平和運動との意義……………	山崎靖純	八三—九五
露国は如何にして宣伝しつゝありや……………	人見幸夫	九六—一〇八
緒言／第三インターナショナル(略称コミンテルン)／赤色職業組合インターナショナル(略称プロフィ ンテルン)／赤色農民インターナショナル(略称クレスチンテルン)／青年共産主義インターナショナル (略称キム)／赤色スポーツ、インターナショナル(略称スポルチンテルン)／革命闘士救援国際協会(略 称モープル)／労働者救援国際委員会(略称メヂ、ラブ、ポム)／対支不干渉協会／対外文化聯絡協会(略 称ヴォックス)		一〇九—一一九
合同通信の組織と活動——A・Pと対抗する国際的通信機構…磯部佑治		
序説／U・Pの歴史／U・P現在の組織大系／国内通信の蒐集供給の機構／海外通信蒐集及び供給の機 構／結論		
新刊紹介 支那の労働運動／人口問題講話……………		一一九—一二九
聯盟の活動 ⁽²⁷⁾ ……………	国際聯盟事務局東京支局調	一二〇—一二七
最近の聯盟主催会合／第九回聯盟総会日報(承前)		
本協会ニュース(九月中)……………		一二八—一二八
(日誌)／出版／会員		
資料		
モンロー主義に関するコスタリカ政府の書翰と聯盟理事会の回答(英文)……………	〔※巻末より〕	1—5
不戦条約正文・不戦条約参加招請公文及びソヴェト聯邦の回答(仏文・英文)……………		6—16

第八卷一二号（一九二八年二月一日）

奉祝文——御即位式当日上リタル本協会奉祝文……………	本協会	一一一
主張 アルベール・トーマ氏を迎ふ……………	本協会	二一三
不戦条約の内容……………	法学博士 山川端夫	四一四
署名まで／各国附属公文の研究／条約本文の研究／結論……………		
一九二八年度世界大観（特輯）……………		
一九二八年と国際聯盟……………	法学博士 松原一雄	二五―三七
本年の軍縮問題——軍縮準備委員会の業績／仲裁及安全委員会の業績／聯盟理事会の業績／第九回聯盟 総会の業績……………		
一九二八年の支那の内治外交……………	長野朗	三八―四九
内治／外交……………		
一九二八年に於ける英国……………	島谷亮輔	五〇―六四
総選挙を控へた政局／保守党内の保護貿易主義／労働党の統一難／自由党の状況／石炭万能の時代去る ／失業者救済難と転職移住奨励／地方財政改革に着手／貧民救済機関／農業工業救済の目的／増税予算 案提出／婦人参政権拡張／印度憲法調査会……………		
栄華の頂上に立つ本年度の米国を観る……………	清沢洌	六五―七六
大統領選挙の結果／機械人、人間人を破る／繁栄に心酔する米国／候補者の宗教と禁酒問題／農民の反		

逆と選挙戦／偉大な碑——不戦条約／米国の繁栄振り

一九二八年仏国の内治外交

町田梓楼

七七—七八

共和十年後の新独逸

柳沢慎之助

八九—九九

序説／マルクス内閣の危機／総選挙と左党内閣の出現／独逸各聯邦会議／憲法制定記念日の問題／旧植民地回復問題／ライン撤兵の正式要求／再燃した賠償問題／目覚ましい経済復興／結語

伊太利の内治外交

塩津誠作

一〇〇—一一〇

単党政治と皇室の将来／専制下の議會は傀儡／新貴族制とパンテオン／軍事訓練と婦人の歧路／一人で八大臣を兼任す／一時的で恒久性はない／時代的黄色禍説蒸返し／人口増加と移民の防圧／好色文学や映画の取締／汎米主義に対する反感／英仏協定中の空軍条項／一人専制の危険性顯著

ソウエート聯邦本年の走観

富士辰馬

一一一—一二八

はしがき／工業と農業の問題／党の民主化／炭坑疑獄事件／外政の一年

雑纂

新刊紹介 支那の鉄道 石川順氏著

六四—六四

新刊紹介 米国三偉人の生涯と其の史的背景 ジョンソン博士著／世界の大勢 米田実氏著

一一〇—一一〇

新刊紹介 謎の隣邦 神田正雄著

一二八—一二八

聯盟の活動(28)

国際聯盟事務局東京支局調

一二九—一二九

最近の聯盟主催会合／阿片条約適用範囲の拡張／二重課税及び脱税に関する国際会議——十月二十二日
ジュネーヴに於て／国際経済統計会議——十一月二十六日ジュネーヴに於て／雑録

本協会ニュース（十月中）……………一三二—一三三

（日誌）／出版／学芸協力委員会／会員

新刊紹介 THE ORIGIN, STRUCTURE & WORKING OF THE LEAGUE OF NATIONS,

By C. Howard-Ellis ……………一三四—一三四

資料

英仏協定ニ関スル在京英国代理大使宛帝国政府回答（邦文）……………一—一

英仏海軍協定に対する米国政府回答（英文）……………〔※巻末より〕1—5